（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援　こもれび			
○保護者評価実施期間	令和7年　2月　10日		～	令和7年　3月　6日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	5/5(家庭数)
○従業者評価実施期間	令和7年　2月　10日		～	令和7年　3月　6日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　3月　10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・豊富な療育ツールを活用しながら、個々の傾向や課題に合わせた個別療育がしっかりできている。	個別療育に取り組むときは情報量を抑えた環境で集中力を引き出し、興味を持続していける魅力的なツール使用・指導員間のアセスメント共有による支援実施。	個別の課題へ取り組むときに、インフォーマルなチェックシートなど用いるなど、工夫して取り組んでいる発達経過のデータを残す。
2	・幼稚園や保育園との連携や移行支援が充実している。	計画時はもちろん、午前療育時の送迎時などに療育の様子の引継ぎ・幼稚園からの要望・相談・行事参加等積極的にコンタクトを取るようにしている。 又、就学時には小学校見学同行・支援会議を開催し、スムーズな就学支援を行っている。	指導員の積極的な地域部会や協議会への参加を募り、各関係機関とのつながりを図っていく。
3	・送迎時を中心に保護者様との連絡を密に行い、ノートや通信機能を活用する事でいつでもどんな小さなことでも相談し合える環境提供を行っている。	限られた送迎時間内でも、利用時の様子について出来るだけ伝えられるようにしている。 LINE導入	療育の内容や活動の様子をよりアピールしていけるようブログ更新情報を毎月の予定表に乗せるなど、工夫していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・小学生が多いため、同年代の子とのかかわりが少ない。	集団活動(社会性)へ入る前の発語促進や物への興味→人へ…信頼関係構築を基盤としたコミュニケーション力向上を目指した個別の療育の充実を図っているため。	発達段階を見極め異年齢活動が刺激となったり、お手本となる機会を儲け少しづつ就学へ向けての準備を進めていく。
2	・ワンフロアーを区切っての構造により、物音や、気配が筒抜けとなりやすい。	物件の構造によるものでやむを得ない。	気持ちの切り替えが出来る様、パーテーションや壁を設置するなど導線を意識した環境に近づける様協議のうえ、協議を行いながら理想へ近づけていく努力を継続していく。
3	・正面玄関が幹線道路沿いに面しており、散歩や送迎時には特に安全への配慮が必須となる。	立地条件であるため避けられない。	特に来所時や送迎車両に乗降時は、安全確認を入念に行い、複数職員で乗降援助を行う。外出時も十分に歩くコースを考慮しつつ、個々の留意点を頭に入れながら目標達成を狙います。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こもれび

公表日 2025年　3月　14日

利用児童数 2025年　3月　1日現在　6名　　回収数 5／5　（家庭数5）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5				・子供たちが心地よく過ごせたり活動に集中できるよう工夫した空間作りをしてくださっています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5				・子供たちが心地よく過ごせたり活動に集中できるよう工夫した空間作りをしてくださっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5				・子供たちが心地よく過ごせたり活動に集中できるよう工夫した空間作りをしてくださっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5				・心地よすぎて寝てしまうかもしれないです ・子供たちが心地よく過ごせたり活動に集中できるよう工夫した空間作りをしてくださっています。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5				・子供の特性をよく理解して支援計画を作成してくださっています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	4			1	・色々な活動を通して子供が楽しく学び、成長できるよう様々な工夫をしてくださっていると感じます。	すべての利用者様が支援内容をご理解いただける様、配信を含めお知らせの場を広げていきたいと思います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					今後も、保護者様のニーズ・子ども達の気持ちに寄り添った計画作成へ、まい進致します。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					目標達成を目指し、職員一同協力し、日々努力しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4			1		同じビジョントレーニングでもツールを変更してみたり、同じものをスモールステップで進めている様子を保護者様によりわかりやすくお伝えしてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1		2	・色々な活動を通して子供が楽しく学び、成長できるよう様々な工夫をしてくださっていると感じます	幼稚園の行事に参加させて頂いたり、他事業所の子供たちと交流を図っている様子はブログ等でお知らせしています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5				・とても丁寧にわかりやすく説明してくださっているのでとてもありがたいです。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5				・とても丁寧にわかりやすく説明してくださっているのでとてもありがたいです。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5				・困った時があったときなどもすぐに対応してくださりとても助かっています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4			1		保護者様向けの企画を今年も計画しておりますので、是非ご参加ください！御きょうだいが活躍できる場もより考慮していきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5				・困った時があったときなどもすぐに対応してくださりとても助かっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4			1	・いつもホームページの更新楽しみにしています ・定期的に発信してくださっています！	こまめに配信していける様、頑張ります！
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				・十分に留意されています	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5				・定期的に訓練してくださっているため、お家でも教えてくれます	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			1	・定期的に訓練してくださっているため、お家でも教えてくれます	午前療育が中心の子ども達にも、非常災害時の避難がスムーズに行えるよう周知徹底してまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	5				・定期的に訓練してくださっているため、お家でも教えてくれます	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			1		緊急事態における対策は、職員研修等実施のうえ、周知を行っております。速やかに対応、連絡を行います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	5				・子供が通所するのを毎回とても楽しみにしており、先生方やお友達のことが大好きだといつも教えてくれます	”こもれびにいきたい！”と言ってもらえる様職員研鑽に努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5				・とても楽しみにしています ・子供が通所するのを毎回とても楽しみにしており、先生方やお友達のことが大好きだといつも教えてくれます	”こもれびにいきたい！”と言ってもらえる様職員研鑽に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				・子供のことをよく考えてくれているのは勿論、親にも配慮してくれ、いつも感謝しています ・保護者としてとても通えて本当にありがたいです	”こもれびにいきたい！”と言ってもらえる様職員研鑽に努めます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援　こもれび

公表日　R7年　3月　14日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・規定に沿って行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・法令を遵守しつつ、利用者の状態に合わせ職員配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・情報を可視化したり、動線を確保するなど子供の特性に合わせて配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・活動に合わせ、床をクッションフロアーにし安全性を高めたり、清潔保持に配慮している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		・子どもの特性に対応出来る様、クールダウンのため入る事が出来る場所を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・職員アンケートを実施し、広く職員の声を拾い上げ、業務改善に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的に保護者の皆様にご協力いただいている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・管理者との距離を適度に保ち、職員からの意見等把握に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者委員会などは設けていないが、関係者の方々から御意見を頂き改善に向け参考とさせていただいている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・年間の研修計画を立て、研鑽の機会を確保するとともに、毎月の事業所会議内で研修機会を持つようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○		・支援プログラム作成。順次公表予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・5領域に沿ったアセスメントを保護者の皆様にご記入頂き、計画作成に努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・アセスメント後、指導に当たっている指導員で支援会議等意見を集約し行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画原案見直しを行い、支援に反映している。	・原案見直しや、支援会議を行っているが、計画時期から日が経つと目標意識が薄れてしまうので、こまめな見直しを行うよう表示の工夫など行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・フォーマルなアセスメントは保護者様にご協力いただき、情報提供の下必要時にいつでも見返す事が出来ている。	インフォーマルなアセスメントの活用をより習慣化していきたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿って作成に当たっている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・個人の考え、傾向に偏らないよう、職員全体で取り組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・インスタグラムや他事業所のアイデアを参考に、常に子供たちの興味、意欲を引き出していけるプログラムの工夫を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・決めつけや、思い込みとなることなく、子どもたちの可能性を引き出していけるべく計画作成に務め、実践に向け努力している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝の打ち合わせで支援内容・個々に対する留意点・担当者の確認を行い、連携して療育を進められる様にしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・明日の療育準備をしながらとなりますが、その日の振り返りが次の支援につながる大切な時間となっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援の検証・確認に非常に重要なものなので、欠かさず取り組むようにしている。	・振り返りの部分も追記する事が出来る様、今後指導員と相談し行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期にモニタリングを行い評価を出している。	・投げかけにより目標達成が早期に見込めた場合など、期間途中であってもモニタリングを行い見直しが出来る様にしていきたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・管理者、児発管が中心となって参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・各関係機関(保育園・幼稚園・小学校・保健センター・児相など)必要時にはいつでも連携を図り支援に生かしていける体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援の様子などの見学に対応したり、スムーズな移行等の為、必要な情報共有を細やかに行い連携しております	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様同意のもと、書面での情報共有や、訪問により支援会議などを行いました	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	○		・地域の児童発達センターにスーパーバイズをいただき、定期的に状況報告や、助言を頂いている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の催し物に参加したり、幼稚園の行事に参加させていただくなどの機会を設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・利用時には送迎時の報告時間や、連絡ノート・電話やLINEの活用によりいつでもどんなことでも話し合いができる環境を整えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ASDとは？支援級ってどんなところ？ペアレントメンターさんをお招きした保護者様向けの講習会等企画開催なども行ってきた。	・今年も保護者参加行事、保護者会など企画しているが、ご家族の理解・対応力向上を今後も図っていきたい。
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時には契約書を参照しながら読み上げ、説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		・保護者様のアセスメントにある”本人・保護者の意向”の部分を面談時に確認し、計画の目標に反映する事が出来る様に意識している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・内容を一緒に考えながら、同意を頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・6ヶ月に1度は必ず全ご家庭と面談を行い、移行時期はもちろん、送迎時・日常の相談などに応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・併用事業所との行事に保護者様・ご家族(ごきょうだい)をお誘いし、交流を持てる様に場の提供をしている。	・

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・随時、相談、申し入れについては対応する旨、配布物には記載するようにし、対応できる様にしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・活動予定の配布、ブログ配信などにより情報開示を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・HP、SNS使用時には、個人情報漏洩がないよう細部にわたってWチェックの上行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・お子様の伝えきれない状況説明や、こだわりに対する配慮の意向にお答えできる範囲でのご協力をさせて頂いている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・地域の避難訓練に参加させて頂いたりしているが"開かれた事業所"という視点では以前からフリーマーケットなど開催し、畑で子供たちが収穫した野菜や小物などを地域の方に提供出来たらと考えている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルを策定し職員周知を行っている。	・事例検討やロールプレイングなどの研修も取り入れていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・全ご家族にBCP策定のための緊急時基本情報シートの記入をお願いし、いざという時の対応を周知している。また、月に一度の避難訓練を子ども達と行い、意識付けとしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に"健康の記録"を提出して頂いている。 ・変更時などその都度連絡。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・上記書類記入時や聞き取り・面談時に情報共有し、事業所内に掲示して職員周知を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・BCP作成指導いただいた基幹相談支援センターの職員研修受講、安全管理ガイドライン作成、実践に当たっている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		・上記の計画作成時、個別避難計画作成ににご協力頂き、指定避難場所及び、連絡方法確認を周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・再発防止へ意識が持てる様、事業所会議、管理者会議等で検討・報告を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を発足し、研修会を開催。職員の虐待への知識、理解を高めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・緊急性、一時性、非代替性の視点によりやむを得ない場合に行う場合があると同意を頂き、計画の中に記載させて頂いている。	

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こもれび			
○保護者評価実施期間	令和７年　2月　日		～	令和7年　3月　日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	２４名	（回答者数）	９名
○従業者評価実施期間	令和７年　2月　日		～	令和７年　3月　日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	４名	（回答者数）	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和７年　3月　11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ワンフロアーであり、職員が子ども達の行動を把握しやすい。	・職員配置に留意し、各コーナーに職員の目が行き届くように意識している。	・どうしても死角になる部分への設定の配慮を行う。
2	・個別のプログラムを確立し、自発的な行動を促すことで自信としていける環境を整えている。	・療育ツールの配置を取りやすくしたり、表示を色別にしたり、予定表とリンクさせ自分で探す事が出来る様にしている。	・子どもたちが意欲を持続していける魅力的な療育課題の提供に努める。
3	・実体験(遊び)から学ぶ理念の下、子ども達が楽しみながら成功経験を積み上げていける様、活動内容の充実を図っている。 ・異年齢(縦割り)療育。	・レクレーションのマンネリ化が起こらないよう、様々なところからの情報を取り入れ、興味の幅を広げて行く。 ・縦割りにより思いやりの気持ちや責任感を持てる場面を持つ。	・毎回取り組み、力となっている活動の様子などをブログ以外にも広く保護者の皆様に伝え、披露出来る場を設けるなど子供たちの励みになるような行事を計画していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・異年齢(縦割り)療育となる事での、集団活動内容の工夫や年齢、傾向に合わせた対応についての課題。	・弱みでもあるが、多くの強みが持てる形態であると考え、条件に合わせた対応を図っていく。	・利用者の学年や傾向に合わせて、活動レベルを分け療育を行う・年齢によってはいくつかの課題を用意し、自己選択する事で責任感を持ち活動をやり遂げ達成感を味わえる様工夫していく。
2	・ワンフロアーであるために、他の音や気配が感じられやすい。	・構造上、やむを得ない部分であるため、環境に配慮した工夫が必要。	・仕切り設置、パーテーション使用によりコーナー意識を高める。 ・学習・個別課題に取り組む席にもパーテーションを置いたり、情報量を減らすなど手元に集中できるように環境整備に工夫している。
3	・完全な環境でのクールダウンコーナー(カームダウン)を設けられていない。	・活動スペースの工夫が、なされていなかった。 ・利用者の本質の理解が足りなかった。 ・実行に移すタイミングを図れなかった。 ・既存の環境の中で、クールダウンを図っていた。	・利用者の衝動性の高まりに対しての本質的な部分への理解を形にするべく、クールダウンコーナーの設置を計画している。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こもれび

公表日 年月日　令和７年３月１４日

利用児童数 年月日　２４名(家庭数21)　回収数　９名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1			・目安等がわからないので	法令に基づいたスペースの確保が出来ています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			1	・把握してないです	言葉だけでの支持が苦手な子や、発語が未熟な子も表示を増やし情報を可視化してコミュニケーションがとれるよう配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8			1		発達に関する専門機関の研修や、指導を受ける機会を設け、まず個々の特性を理解するところから、療育をスタートさせております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	9					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			1		5領域に根差した支援項目を設定し、計画作成時に今一度全員の保護者様にご理解頂けるよう説明を行いたいと思います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					同じ目的である活動でも、素材を変化させることで、意欲が増すようです。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1		2		近隣の児童会館にお誘いを受けての交流や、他事業所との合同の活動の様子を具体的に保護者様へ伝えていきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9					今年も、お役に立てるような機会を計画していきたいと思っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9					いつも、お時間頂きありがとうございます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1		1	・兄弟同士はないから	保護者会やイベント等の内容を見直し、講習会のほかに交流を深めていけるような場を設けると共に、今後、参加して頂いた御きょうだいもより楽しめる企画を考えていきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			1		いつでも相談や申し入れに対応する旨、お伝えしておりますが。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1		ご契約時に個人情報使用の同意書をもって説明・了承頂き、留意の上運営させて頂いております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	8			1		各ご家庭に緊急時基本情報シート(いざというときに・個別避難計画)作成のご協力を頂き、月一度の避難訓練を実施しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			1		思わぬ事故や、けがの時には適切な処置を行い速やかに保護者様へ連絡させていただく旨、説明させて頂いております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6	3			・日によるみたいです	成長と共に個別課題が複雑化していきますが、すべての利用者様が安心して、いつでも利用を楽しみに来所してもらえるよう尽力して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					いつも、ご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。今後とも保護者の皆様と一緒に苦手軽減に向け取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　こもれび

公表日　R7年　3月　14　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・法令に沿って行われている。 ・密になりそうな場合は声かけをしてスタッフの人数に気をつけている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・法令を遵守しつつ、利用者の状態に合わせ職員配置を行っている。	送迎時の職員の動き（日案）の工夫
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・スタッフ同士の声かけにより、以前よりは伝達（共有）出来るようになった。 ・個別の予定表を用意し、見通しを持てるようになった。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・活動に合わせ、床をクッションフロアーにし安全性を高めたり、清潔保持に配慮している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個々の傾向に合わせてレクの時間を別室でのプログラムにするなど工夫をしている。 ・集団から離れられる環境が備わっている。	・事業所内にもしっかりとしたクールダウンのコーナーを工夫して設置し、環境を整えていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・利用児に合わせた目標設定と振り返りをしっかり行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的に保護者の皆様にご協力いただいている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・スタッフ同士話しやすい環境は他事業所よりはあると感じている。	・疑問に思った事や、ここの考えを意見として声を上げていける職場作りを心掛けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者委員会などは設けていないが、関係者の方々から御意見を頂き改善に向け参考とさせていただいている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修のシェアがされている ・月1の研修など年間計画を立て、しっかり行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラム作成。順次公表。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・5領域に沿ったアセスメントを保護者の皆様にご記入頂き、計画作成に努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・その都度振り返りを共有し対策を検討している ・他スタッフと共に全体で支援会議を行い、原案についての見直しを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		・計画原案見直しを行い、支援に反映している。	・原案見直しや、支援会議を行っているが、計画時期から日が経つと目標意識が薄れてしまうので、こまめな見直しを行うよう表示の工夫など行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・フォーマルなアセスメントは保護者様にご協力いただき、情報提供の下必要時にいつでも見返す事が出来ている。	インフォーマルなアセスメントの活用をより習慣化していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿って作成に当たっている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・個人の考え、傾向に偏らないよう、職員全体で取り組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・インスタグラムや他事業所のアイデアを参考に、常に子供たちの興味、意欲を引き出していけるプログラムの工夫を行っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・決めつけや、思い込みとなることなく、子どもたちの可能性を引き出していけるべく計画作成に務め、実践に向け努力している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・経験の浅いスタッフに対してサポートあり、療育出来るように出来ている	・毎朝の打ち合わせで支援内容・個々に対する留意点・担当者の確認を行い、連携して療育を進められる様にしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・終礼でしっかりと話し合いをしている	・明日の療育準備をしながらとなりますが、その日の振り返りが次の支援につながる大切な時間となっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・連絡ノートなど、しっかり出来ている ・傾向における個別支援を行っている児童の支援記録を取り検証し改善を目指している。	・振り返りの部分も追記する事が出来る様、今後指導員と相談し行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期にモニタリングを行い評価を出している。	・投げかけにより目標達成が早期に見込めた場合など、期間途中であってもモニタリングを行い見直しが出来る様にしていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		・個々の成長と目標に合わせた活動を偏りなく盛り込めるよう、日々活動に取り入れています。	・興味の幅を広げていくために、余暇に繋がる情報や、活動の提供を今後も心掛けていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・自立支援にもつながっていくように個別の予定表を提供。状況に合わせた判断・理解を行動に起こしていける様工夫している。	・毎日の自分で食べるおやつを自分で選択するだけでも”自己決定できた”思いに繋がるようなので、整えすぎにも留意していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・管理者、児発管が中心となって参画している。	・今後調節しながら積極的に職員にも参加を呼びかけ、学びや横の繋がりも共有していきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・各関係機関(保育園・幼稚園・小学校・保健センター・児相など)必要時にはいつでも連携を図り支援に生かしていける体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・LINEで管理されている ・親から時間割りなど予定をもらって共有されている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・卒園後も情報提供や、意見を参考とさせていただきたい旨ご協力をいただくこととなっております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・保護者様へ提案させていただき、就労支援事業所へ連携を図り、事業所見学動向を行っている。	・今後の支援に繋がっていくよう、連携を継続していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○		・センターとの連携により、定期的に助言いただいたり、研修に参加させて頂いています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・土曜日や長期休みを活用し、他の地域の大型児童会館へは出かけていましたが、地域の児童会館へもお邪魔させて頂こうと考えています。	来年度は積極的に交流が図れるよう、検討していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・ほぼ毎回、児発管中心でありますが、参加させて頂いております。	管理者や児発管だけではなく、他の指導員も積極的な参加を促していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・限られた送迎時間を活用し、出来るだけ状況や課題について報告させて頂いております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ASDとは？支援級ってどんなところ？ペアレントメンターさんをお招きした保護者様向けの講習会等企画開催なども行ってきた。	・今年も保護者参加行事、保護者会など企画しているが、ご家族の理解・対応力向上を今後も図っていきたい。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約書にしっかりと記載し、読み上げ説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者様のアセスメントにある”本人・保護者の意向”の部分を面談時に確認し、計画の目標に反映する事が出来る様に意識している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		・内容を一緒に考えながら、同意を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・6ヶ月に1度は必ず全ご家庭と面談を行い、移行時期はもちろん、送迎時・日常の相談などに応じている。	・LINE導入などで、以前より気軽に相談できるようになったと思いますが、より保護者の皆様といつでも、どの職員でも話しやすい事業所を目指します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・併用事業所との行事に保護者様・ご家族(ごきょうだい)をお誘いし、交流を持てる様に場の提供をしている。	・今後の行事の時には、ごきょうだいもより楽しめるような企画を考案していきたいと思います。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情受付窓口について契約時にご説明し、迅速な対応を心がけ、解決に向け協議している。 ・各報告書を整備し記録に残すようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・活動予定の配布、ブログ配信などにより情報開示を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・HP、SNS使用時には、個人情報漏洩がないよう細部にわたってWチェックの上行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・お子様の伝えきれない状況説明や、こだわりに対する配慮の意向にお答えできる範囲でのご協力をさせて頂いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・地域のフリーペーパーなど目を通すようにしている。	・地域の避難訓練に参加させて頂いたりしているが"開かれた事業所"という視点では以前からフリーマーケットなど開催し、畑で子供たちが収穫した野菜や小物などを地域の方に提供出来たらと考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルを策定し職員周知を行っている。	・事例検討やロールプレイングなどの研修も取り入れていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・全ご家族にBCP策定のための緊急時基本情報シートの記入をお願いし、いざという時の対応を周知している。また、月に一度の避難訓練を子ども達と行い、意識付けとしている。	・年間の研修計画に、心肺蘇生術や応急処置の方法を学ぶ機会を設けています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に"健康の記録"を提出して頂いている。 ・変更時などその都度連絡。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・全員が共通して見れるところに記してあり、わかりやすい。	・常に意識して職員の頭の中にインプットしていける様周知徹底いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・BCP作成指導いただいた基幹相談支援センターの職員研修受講、安全管理ガイドライン作成など実践に当たっている。	・作りっぱなしとならない様、見直しや必要時にセンターの方に相談するなどいざという時に備えたいと思います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		・上記の計画作成時、個別避難計画作成ににご協力頂き、指定避難場所及び、連絡方法確認を周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・再発防止へ意識が持てる様、事業所会議、管理者会議等で検討・報告を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を発足し、研修会を開催。職員の虐待への知識、理解を高めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・緊急性、一時性、非代替性の視点によりやむを得ない場合に行う場合があると同意を頂き、計画の中に記載させて頂いている。	